

# 琉和の森だより

令和3年10月号

施設長 比嘉直樹



## コロナが落ち着くことを祈る！

昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、一日の新規感染者数が800名を超えるこれまでに一番強い波である第5波が、収束の兆しとなっています。緊急事態宣言期間も終了し、これから徐々に経済活動が活発化されていくと思われれます。しかし、今冬には第6波を予測する専門家が多く、高齢者施設にとっては、まだまだ安心できる状況ではありません。

第5波のなか、琉和の森ではワクチン接種を薦め、2回接種終了者は入居者75%、スタッフ83%の接種率となっています。ワクチンは発症を予防する高い効果があり、重症化を予防する効果が期待されています。

これまで琉和の森は、入居者・スタッフとも新型コロナウイルスの感染者を出すことなく、現在に至っております。これらは、会えない寂しい思いをしながら「琉和の森の感染対策」に協力して頂いているご家族様の理解と協力、そしてスタッフのプライベートも含めた感染対策の賜物であり、感謝の意が絶えません。

これからも感染者を出すことなく、沖縄県の指導を仰ぎながら、寂しい思いを解消すべく方法を見つけ、コロナが落ち着くことを祈ります。

・・・平穏な生活を戻すために・・・

## ユニットリーダー

### ワンポイントセミナーを受講

「介護は利用者の願いを叶える仕事」である事を学びました。介護の仕事は人手不足ではありますが、これから自分の仕事の方向性を他の職員と共有し、楽しく仕事をし、利用者も満足度を出せばいいなと思いました。

コロナ禍の中、全国の方とオンラインで繋がり、共通の価値観を学びました。

## お花いっぱい！



アフリカン・マリーゴールド

背丈が高く、たくましいお花！